

## 藤山台中学校区小学校統合の経緯と今後の予定

### 1 経緯

本市における児童生徒数は、昭和57年度の43,905人をピークに、平成21年度には27,191人とピーク時の62%まで減少し、学年で1学級しか編成できない小学校が増えているなど、学校の小規模化が進んでいる地域があります。一方、土地区画整理事業や宅地開発によって児童生徒数が増加し、全学年で25学級を超える大規模な学校がある地域もあり、児童生徒数及び学級数に地域間で大きな差がでてきている状況にあることから、学校間の教育環境の公平性をできる限り確保するため、市教育委員会では、平成20年4月から学校規模の適正化に取り組んできました。

### 2 第1次小学校統合計画の策定

平成21年12月に策定した「小中学校の適正規模等に関する基本方針」に基づき、最優先に取り組む必要があるとされた藤山台小学校の過小規模校の解消に向け、藤山台小学校、藤山台東小学校及び西藤山台小学校の3校統合を段階的に進めることとし、平成24年2月に藤山台小学校と藤山台東小学校の2校統合に対する「藤山台中学校区のよりよい教育環境の実現に向けた第1次小学校統合計画」（以下「第1次小学校統合計画」という。）を策定しました。

#### 【第1次小学校統合計画の概要】

- 平成28年度当初を目標に、藤山台小学校、藤山台東小学校及び西藤山台小学校を統合（以下「3校統合」という。）する。
- 3校統合は段階的に進めることとし、まず、平成25年4月1日に藤山台小学校及び藤山台東小学校を統合（以下「2校統合」という。）する。
- 段階的な統合が円滑に進められるよう、小学校統合計画を、2校統合に対する第1次小学校統合計画と、3校統合に対する第2次小学校統合計画に分けて策定する。

### 3 新藤山台小学校学校づくり懇談会の設置

「夢のある学校づくり」に向け、めざす学校の姿を明らかにするとともに、その実現のための手順とスケジュールを示す「藤山台中学校区のよりよい教育環境の実現に向けた第2次小学校統合計画」（以下「第2次小学校統合計画」という。）の策定に向け、平成24年5月、有識者を始め、藤山台中学校区の町内会等の代表者、教職

員、PTA、学校評議員、幼稚園・保育園関係者、主任児童委員及び子育て支援活動団体の代表者で構成する新藤山台小学校学校づくり懇談会（以下「懇談会」という。）を設置し、「めざす学校の姿」について、意見の集約を図りました。

#### 4 懇談会の提言書

懇談会は、新藤山台小学校の「めざす学校の姿」を明らかにする共通理念と学校づくりの視点などについてとりまとめた提言書「地域とともに歩む夢のある学校づくり」（以下「提言書」という。）を作成し、平成24年12月、市教育委員会に提出しました。

#### 5 第2次小学校統合計画の策定

市教育委員会は、第1次小学校統合計画に沿って、提言書の内容を踏まえ、「めざす学校の姿」を明らかにするとともに、その実現のための手順とスケジュールを示す第2次小学校統合計画を策定しました。

#### 【学校規模適正化の取り組みの経緯】

年 月	内 容
平成21年12月	「小中学校の適正規模等に関する基本方針」を策定
平成22年4月	藤山台中学校区学校規模適正化地域協議会を設置
平成23年3月	藤山台中学校区学校規模適正化地域協議会から「藤山台中学校区における小学校規模適正化に向けた意見書」を受領
平成24年2月	「藤山台中学校区のよりよい教育環境の実現に向けた第1次小学校統合計画」を策定
平成24年5月	新藤山台小学校学校づくり懇談会を設置
平成24年12月	新藤山台小学校学校づくり懇談会から提言書「地域とともに歩む夢のある学校づくり」を受領
平成25年2月	「藤山台中学校区のよりよい教育環境の実現に向けた第2次小学校統合計画」を策定
平成25年4月	藤山台小学校及び藤山台東小学校を統合

#### 6 今後の予定

平成26・27年	新藤山台小学校整備
平成28年4月	新藤山台小学校開校